

ご近所のお医者さん

647

沢井眼科院長 **澤井貞子さん** 一大阪市浪速区

子どもたちの健康を支える

厚生労働省の推計によると、2070年には、日本の人口は8700万人、その4割が65歳以上の方になるそうです。岸田文雄首相は年頭所感で「異次元の少子化対策」を掲げ、4月1日には「こども家庭庁」も発足、本格的な対策に乗り出しました。少子化対策の必要性は誰もが認めるところでしょうが、その財源はどこから出すのか？ 国会は侃々諤々の議論中です。社会全体で子

育てを応援する優しい社会に向けて、最善の策が取られることを望みます。子どもたちの数も重要ですが、心身健全やかな成長はさらに重要です。子どもたちの健康も社会全体で守らねばな

エコチル調査生かして

中喫煙の出生体重への影響などに多数の

りませんが、社会環境や生活環境はより複雑化し、子どもたちの成長に悪影響があるのではないかと危惧されるものであふれています。環境省は10年度、「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」を始めました。「エコロジ」と「チルドレン」を組み合わせ「エコチル」と呼ばれる、大規模な国家プロジェクトです。全国で10万組(大阪で約8000人)の親子に参加いただき、赤ちゃんが母さ

成果が出てきています。調査結果に基づいて有効な対策が取られ、より安全な生活環境が整えられるよう期待しています。

医療者も子どもたちや保護者の方と向き合い、健康面からサポートすることで、安全安心な子育てに、ひいては少子化対策に寄与したいと考えています。ご自身の健康、あるいは子育ての悩みなども、ぜひかかりつけ医にご相談ください。

(府医師会理事)

